

第40回  
多摩市政世論調査報告書  
概要版（抜粋）



いきいきTAMA

令和6年1月

---

多 摩 市

## 目 次

I 調査の概要.....	3
II 調査対象者の特性.....	4
III 調査結果の分析.....	6
1. 定住意向.....	6
(1) 居住年数（問2）.....	6
(2) 多摩市の認識（問3）.....	6
(3) 定住意向（問4）.....	7
2. 生活環境.....	7
(1) 住みよさの総合評価（問5）.....	7
(2) 生活環境の総合評価（問6）.....	8
3. 環境問題の関心.....	8
(1) 関心のある地域レベルの環境問題（問7）.....	8
4. 地域活動と生涯学習.....	9
(1) 地域活動の現況と参加意向（問10）.....	9
5. 日常生活での実感.....	10
(1) 現在の幸福度（問15）.....	10
(2) 日常生活の悩み・不安（問16）.....	10
6. 暮らし向き.....	11
(1) 暮らし向きの変化（問19）.....	11
(2) 暮らし向きの悪化理由（問19-1）.....	11
7. たま広報・公式ホームページ.....	11
(1) 「たま広報」の精読度（問21）.....	11
8. 市政への要望.....	12
(1) 行政に特に力を入れてほしいこと（問33）.....	12
9. 生活の中での実感.....	13
(1) 日常生活での実感（問35）.....	13
10. ジェンダー平等.....	14
(1) 男女の地位の平等感（問45）.....	14
11. いざという時の近所との関わり.....	14
(1) いざという時の近隣協力関係（問48）.....	14
(2) 地域での助け合える関係（問49）.....	14
参考資料 第40回多摩市政世論調査報告書 章立.....	15

### 【調査結果の分析を見る際の注意事項】

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- 小数点以下の数値においては、小数点以下第2位を四捨五入しているため、小数点第1位の数値同士を合計した場合、単純合計の数値と異なる場合がある。
- 2つ以上回答をしてもよい質問（複数回答）の場合、百分率の合計は通常100%を超える。
- 属性別の分析にあたり、各属性サンプル数が少数（30未満）の場合は、参考程度に見ていただきたい。

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、市民の定住意向や居住地域に対する考え方、市政に対する要望などを把握し、行政の参考資料とするものである。

## 2. 調査の設計

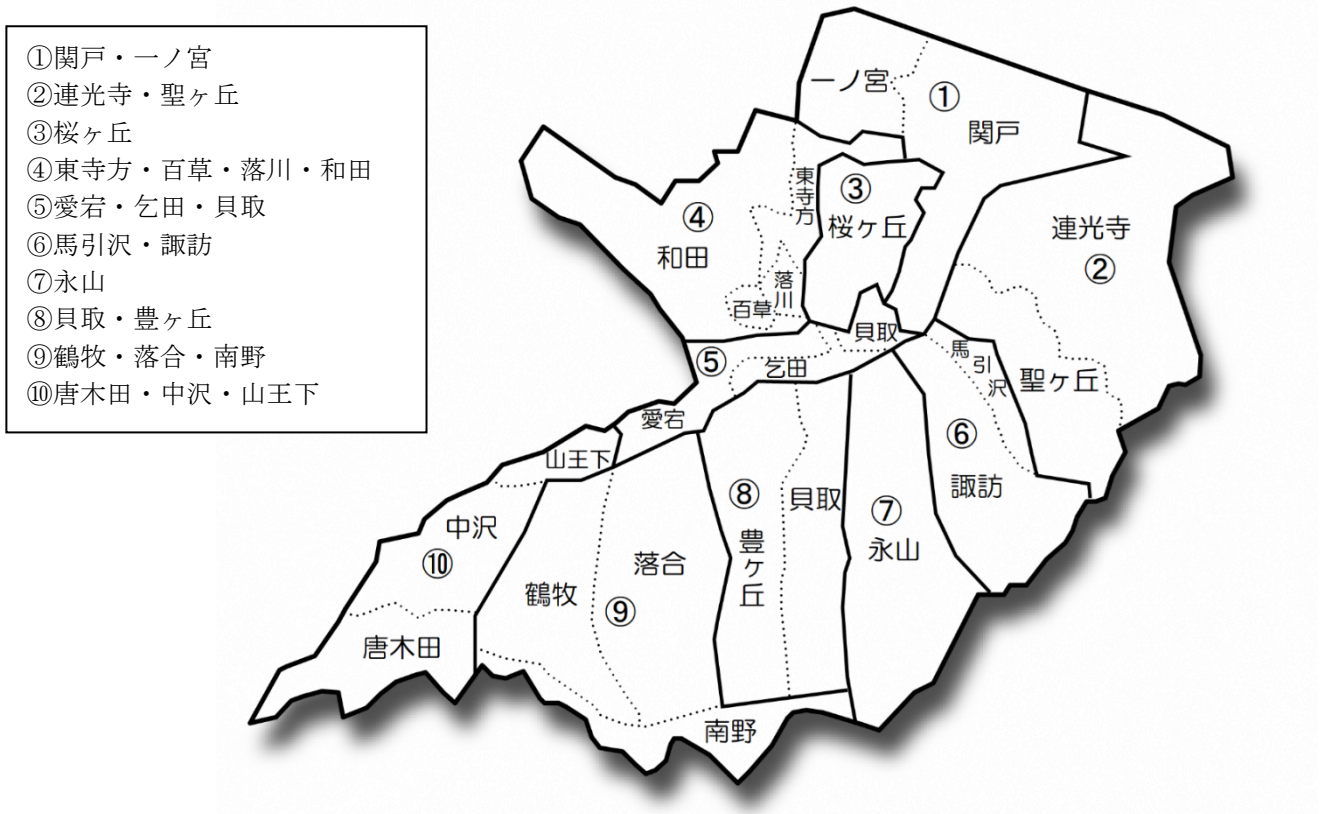
- (1) 調査地域：多摩市全域
- (2) 調査対象者：多摩市に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの層化無作為抽出法
- (5) 調査方法：調査票郵送配布、郵送・インターネット回答
- (6) 調査時期：令和 5 年 8 月 24 日～9 月 6 日

## 3. 回収結果

- (1) 標本数 3,000
- (2) 郵送未達 5
- (3) 総回収数 (率) 1,427 (47.6%)
- (4) 有効回答数 (率) 1,414 (47.1%)
  - 回答内訳 ・ 郵送 923 (65.3%)
  - ・ インターネット 491 (34.7%)
- (5) 回収不能数 (率) 1,573 (52.4%)

## 4. 地域別区分図

市内を 10 の地域ブロック (図中の丸数値)、17 の居住地区に分けて集計している。



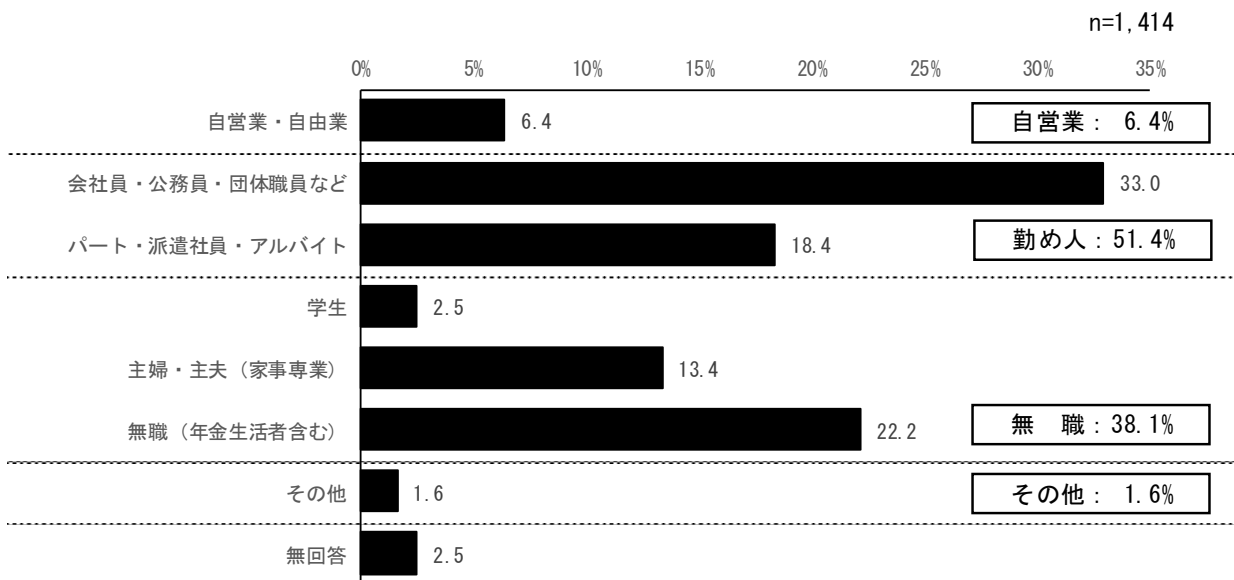
## II 調査対象者の特性

### 【職業】

職業は「会社員・公務員・団体職員など」(33.0%)が最も高く、次いで「無職(年金生活者含む)」(22.2%)、「パート・派遣社員・アルバイト」(18.4%)、「主婦・主夫(家事専業)」(13.4%)、「自営業・自由業」(6.4%)、「学生」(2.5%)の順である。

“自営業”(6.4%)、“勤め人”(51.4%)、“無職”(38.1%)、“その他”(1.6%)の区分では“勤め人”が最も高い。(図2)

図2 職業



### 【居住形態】

居住形態は「分譲マンション」(39.5%)、「一戸建て(持ち家)」(30.6%)が高く、両者を合わせた“持ち家”は70.1%となる。“借家”では「民間のアパート・マンション(賃貸)」(10.9%)、「UR(旧公団)・公社の賃貸住宅」(9.1%)。「都・市営住宅」(5.4%)の順に高い。

居住地域別では、“持ち家”は「桜ヶ丘」(90.0%)、「連光寺・聖ヶ丘」(83.5%)、「関戸・一ノ宮」(82.2%)、「唐木田・中沢・山王下」(80.1%)、「鶴牧・落合・南野」(75.9%)で高く、“借家”は、「永山」(48.1%)、「愛宕・乞田・貝取」(41.2%)、「貝取・豊ヶ丘」(34.4%)、「馬引沢・諏訪」(33.6%)、「東寺方・百草・落川・和田」(32.5%)で高く、それらの地域では“持ち家”比率は6割前後にとどまる。(表5)

表5 居住形態（居住地域別）

単位：％

	合計（人）	持ち家			借家						その他	無回答	
		一戸建て（持ち家）	分譲マンション	小計	一戸建て（借家）	民間のアパート・マンション（賃貸）	UR（旧公団）・会社の賃貸住宅	都・市営住宅	社宅・寮	小計			
<b>全体</b>	<b>1,414</b>	<b>30.6</b>	<b>39.5</b>	<b>70.1</b>	<b>0.9</b>	<b>10.9</b>	<b>9.1</b>	<b>5.4</b>	<b>0.3</b>	<b>26.6</b>	<b>0.9</b>	<b>2.4</b>	
居住地域別	関戸・一ノ宮	140	37.9	44.3	82.2	-	12.9	2.1	1.4	0.7	17.1	-	0.7
	連光寺・聖ヶ丘	152	53.9	29.6	83.5	2.6	4.6	3.3	3.3	-	13.8	0.7	2.0
	桜ヶ丘	80	80.0	10.0	90.0	2.5	6.3	-	1.3	-	10.1	-	-
	東寺方・百草・落川・和田	141	49.6	14.9	64.5	3.5	17.0	8.5	2.8	0.7	32.5	0.7	2.1
	愛宕・乞田・貝取	109	18.3	39.4	57.7	-	16.5	11.9	11.0	1.8	41.2	-	0.9
	馬引沢・諏訪	155	25.2	40.6	65.8	-	15.5	3.9	14.2	-	33.6	0.6	-
	永山	129	14.0	37.2	51.2	-	14.7	29.5	3.9	-	48.1	0.8	-
	貝取・豊ヶ丘	125	6.4	56.0	62.4	-	4.0	22.4	8.0	-	34.4	3.2	-
	鶴牧・落合・南野	199	19.1	56.8	75.9	-	6.0	10.1	4.5	-	20.6	2.0	1.5
	唐木田・中沢・山王下	146	23.3	56.8	80.1	-	15.1	1.4	2.7	-	19.2	0.7	-
無回答	38	18.4	7.9	26.3	5.3	-	2.6	5.3	-	13.2	-	60.5	

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

## 【ライフステージ】

ライフステージは「高齢者世帯」（25.1％）が最も高い。次いで「家族成熟期」（13.6％）、「高齢期」（11.3％）、「家族成長前期」（9.2％）の順に続く。

居住地域別にみると、「高齢者世帯」は「貝取・豊ヶ丘」（35.2％）が特に高く、「家族成熟期」は「馬引沢・諏訪」（19.4％）、「桜ヶ丘」（18.8％）が高くなっている（表8）

表8 ライフステージ（居住地域別）

単位：％

	合計（人）	独身期	家族形成期	家族成長前期	家族成長後期	家族成熟期	高齢期	高齢者世帯	その他	無回答	
											<b>全体</b>
居住地域別	関戸・一ノ宮	140	8.6	5.7	10.0	10.0	17.1	12.1	19.3	15.7	1.4
	連光寺・聖ヶ丘	152	7.9	7.2	9.2	9.9	15.1	9.9	24.3	15.8	0.7
	桜ヶ丘	80	7.5	7.5	8.8	13.8	18.8	8.8	21.3	13.8	-
	東寺方・百草・落川・和田	141	7.8	6.4	9.2	10.6	12.8	13.5	27.7	11.3	0.7
	愛宕・乞田・貝取	109	9.2	5.5	9.2	9.2	12.8	14.7	26.6	12.8	-
	馬引沢・諏訪	155	5.2	3.2	14.2	6.5	19.4	10.3	21.9	18.1	1.3
	永山	129	7.8	8.5	10.9	3.9	12.4	10.9	24.8	20.2	0.8
	貝取・豊ヶ丘	125	9.6	4.0	2.4	8.0	8.8	13.6	35.2	17.6	0.8
	鶴牧・落合・南野	199	11.6	5.5	8.0	10.1	13.6	13.1	26.6	11.6	-
	唐木田・中沢・山王下	146	10.3	8.9	11.6	9.6	8.9	8.2	26.7	15.8	-
無回答	38	2.6	2.6	-	2.6	2.6	2.6	10.5	2.6	73.7	

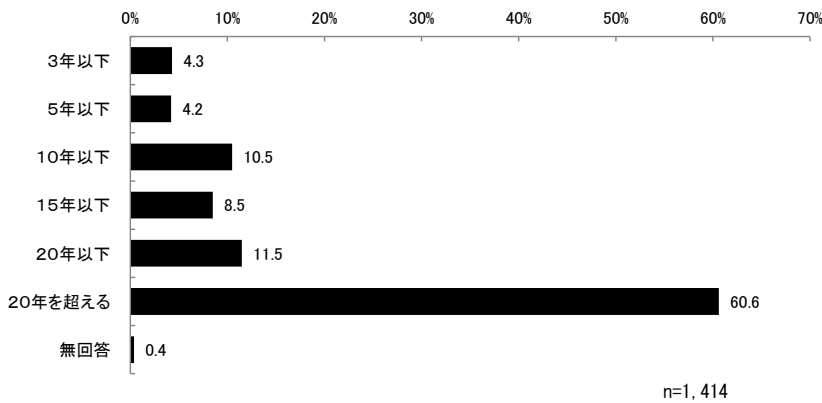
は全体結果より5ポイント以上大きい属性

### Ⅲ 調査結果の分析

#### 1. 定住意向

##### (1) 居住年数 (問2)

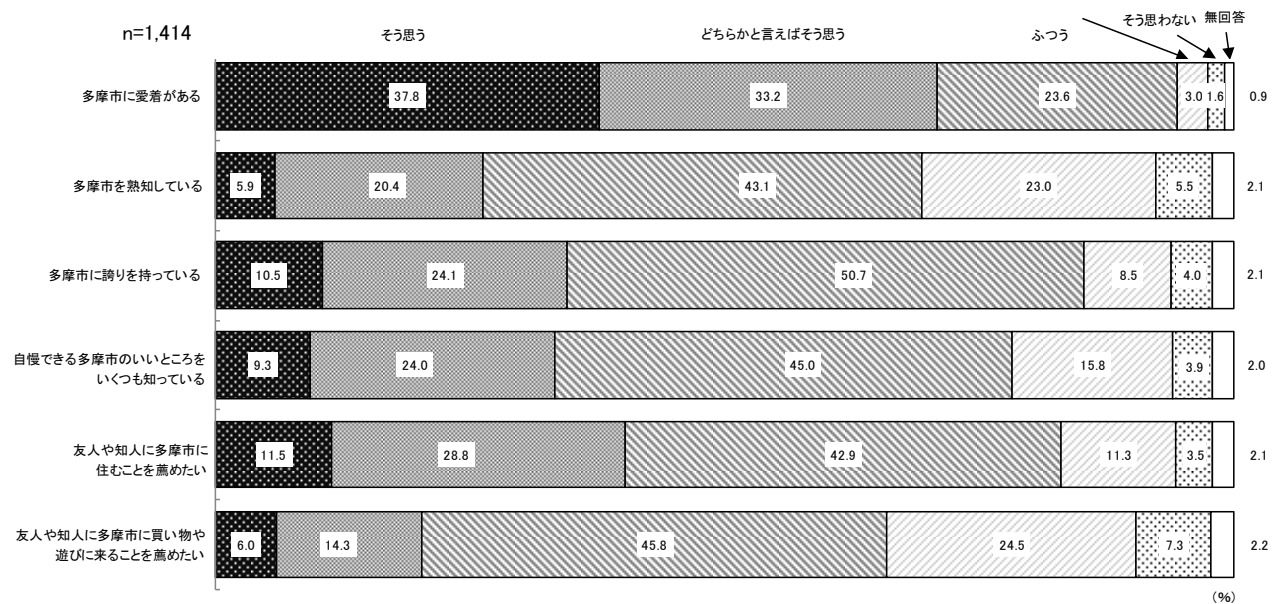
問2 あなたは多摩市にお住まいになって、  
何年ぐらいになりますか。(1つだけ)



多摩市における居住年数は、「3年以下」(4.3%)、「5年以下」(4.2%)を合わせた“短期居住者”が8.5%、「10年以下」(10.5%)、「15年以下」(8.5%)、「20年以下」(11.5%)を合わせた“中期居住者”が30.5%、「20年を超える」“長期居住者”が60.6%となっており、“長期居住者”が全体の6割以上を占めている。

##### (2) 多摩市の認識 (問3)

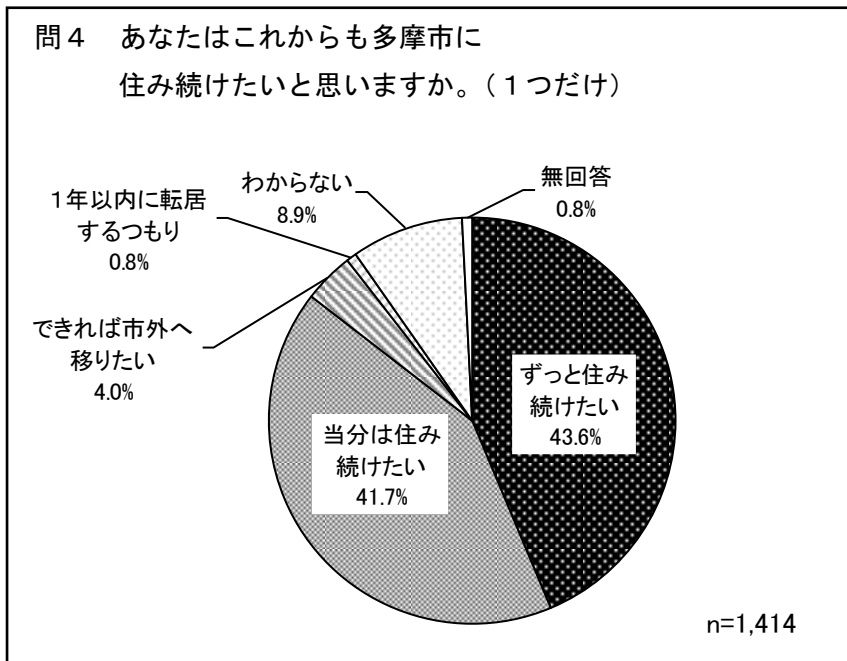
問3 次の各設問について、あてはまるものを右側の1～5の中からお答えください。(1つだけ)



多摩市の認識について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた“肯定的評価”は、「多摩市に愛着がある」が71.0%となり、他と比べて特に高く、次いで「友人や知人に多摩市に住むことを薦めたい」(40.3%)、「多摩市に誇りを持っている」(34.6%)の順で高くなっている。

「あまり思わない」、「そう思わない」を合わせた“否定的評価”は、「友人や知人に多摩市に買い物や遊びに来ることを薦めたい」(31.8%)、「多摩市を熟知している」(28.5%)の順に高くなっている。

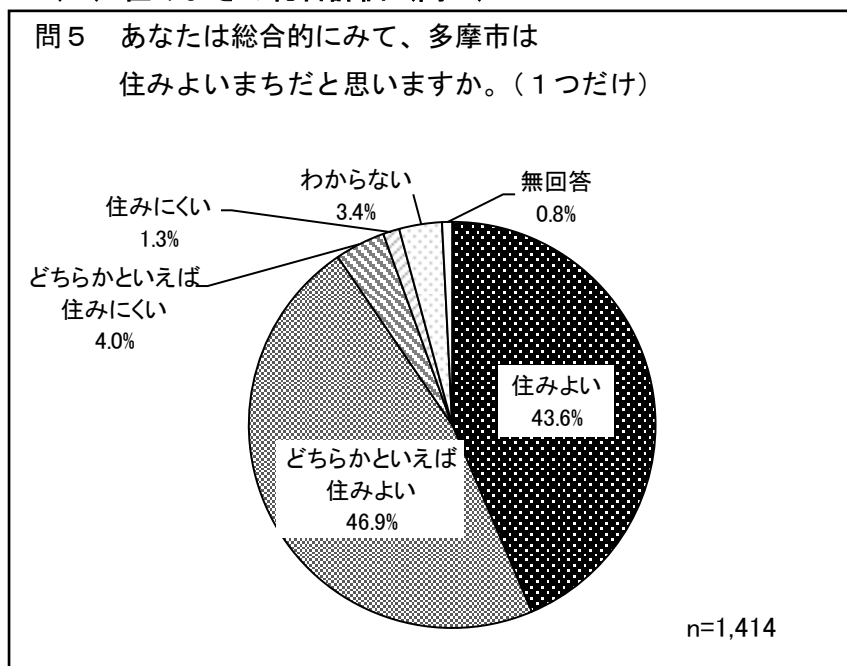
### (3) 定住意向 (問4)



多摩市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」(43.6%)、「当分は住み続けたい」(41.7%)を合わせた“定住派”が85.3%を占めている。反対に「できれば市外へ移りたい」(4.0%)、「1年以内に転居するつもり」(0.8%)を合わせた“転居派”は4.8%にとどまっている。

## 2. 生活環境

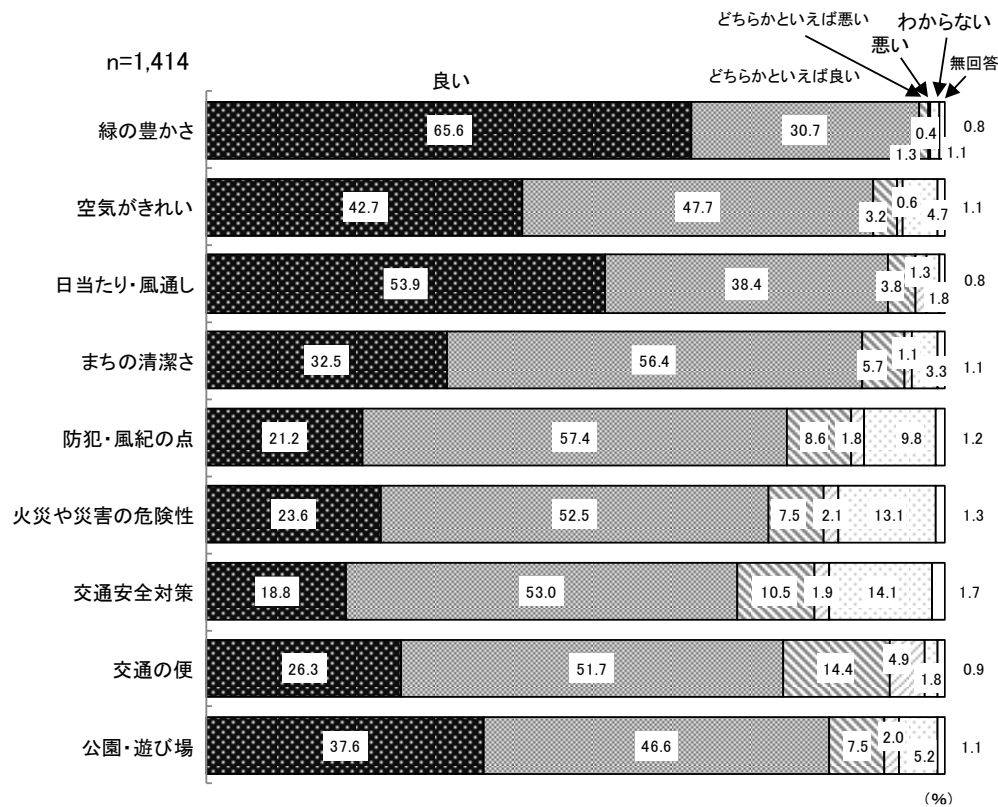
### (1) 住みよさの総合評価 (問5)



市の住みよさの総合評価は、「住みよい」(43.6%)、「どちらかといえば住みよい」(46.9%)を合わせた“肯定的評価”が90.5%と全体の9割以上を占めている。「どちらかといえば住みにくい」(4.0%)、「住みにくい」(1.3%)を合わせた“否定的評価”は5.3%にとどまっている。

## (2) 生活環境の総合評価 (問6)

問6 あなたのお住まいの地域環境について、どのような感想をお持ちですか。次にあげる1)～9)の各項目に、右側の1～5の中からお答えください。(1つだけ)



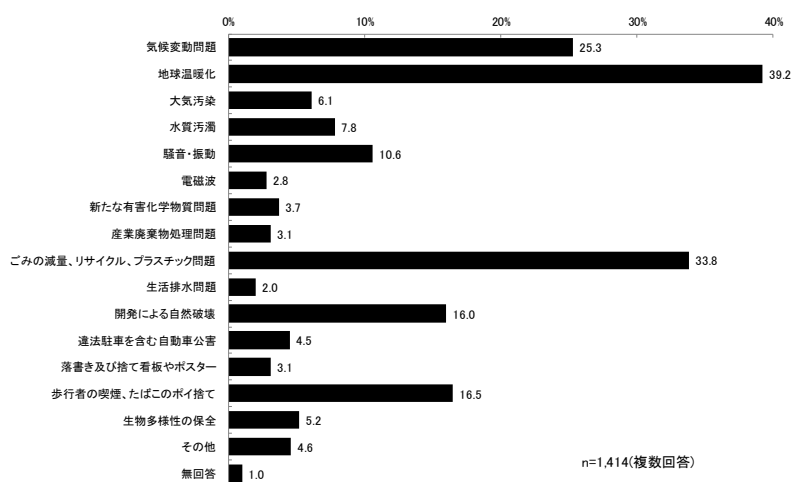
住まいの地域環境は、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた“肯定的評価”では「緑の豊かさ」(96.3%)、「日当たり・風通し」(92.3%)、「空気がきれい」(90.4%)といった自然環境に関する項目が9割以上と上位を占めている。次いで「まちの清潔さ」(88.9%)、「公園・遊び場」(84.2%)となっている。

一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた“否定的評価”では「交通の便」(19.3%)、「交通安全対策」(12.4%)、「防犯・風紀の点」(10.4%)の3項目が高く、交通の利便性と安全性に対する評価が低くなっている。

## 3. 環境問題の関心

### (1) 関心のある地域レベルの環境問題 (問7)

問7 あなたが地域レベルの環境問題について、特に関心がある項目はどれですか。(2つまで)

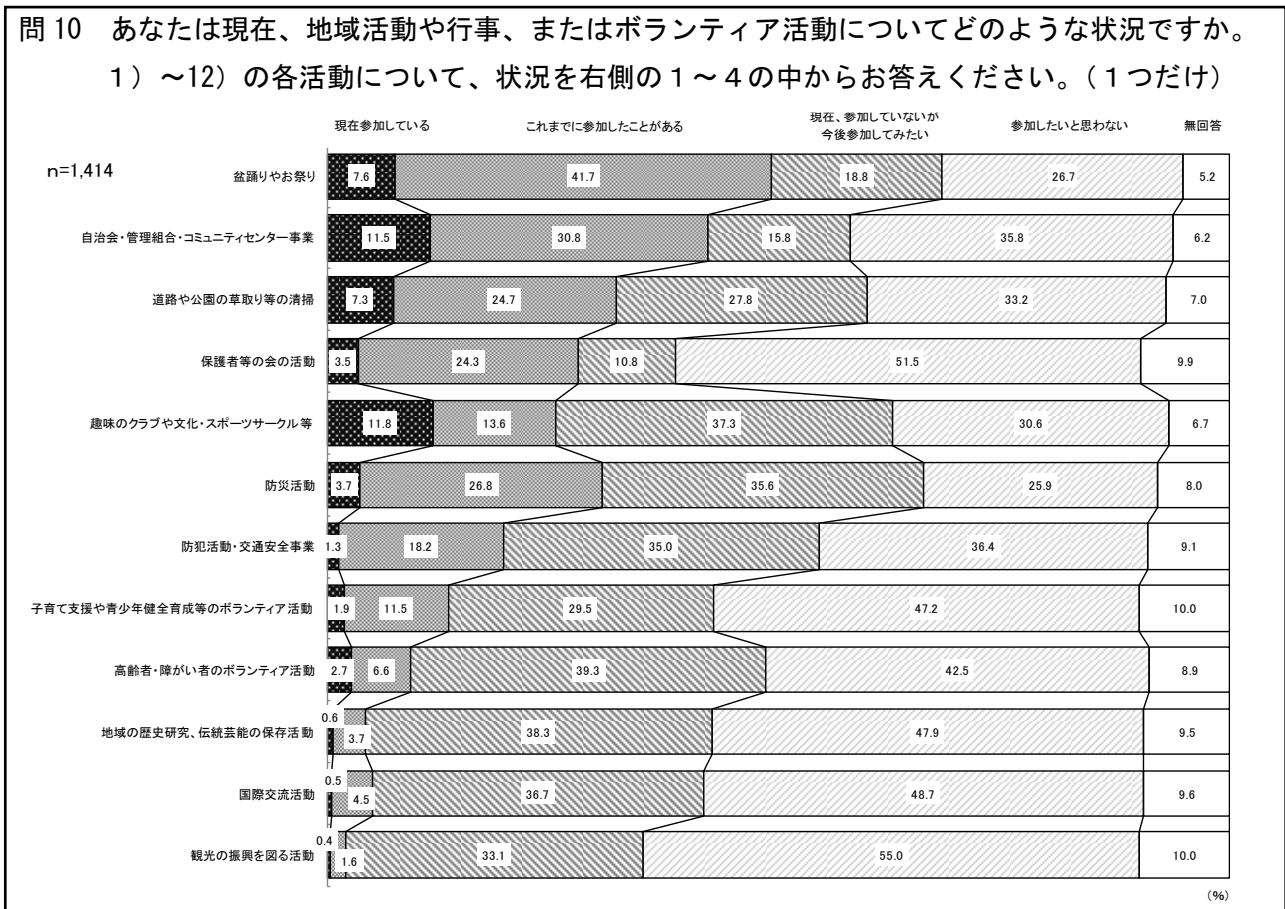


関心のある地域レベルの環境問題は、「地球温暖化」(39.2%)と「ごみの減量、リサイクル、プラスチック問題」(33.8%)が特に高く、次いで「気候変動問題」(25.3%)、「歩行者の喫煙、たばこのポイ捨て」(16.5%)、「開発による自然破壊」(16.0%)の順となっている。



## 4. 地域活動と生涯学習

### (1) 地域活動の現況と参加意向 (問10)



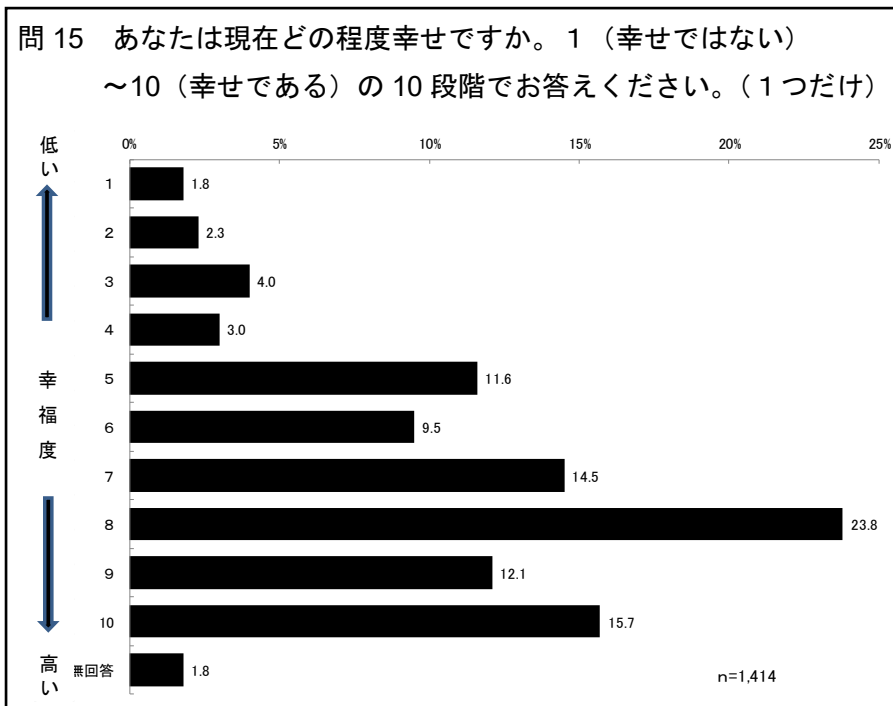
地域活動の現況としては、「現在参加している」は「趣味のクラブや文化・スポーツサークル等」(11.8%)、「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」(11.5%)が高く、次いで「盆踊りやお祭り」(7.6%)、「道路や公園の草取り等の清掃」(7.3%)、「防災活動」(3.7%)、「保護者等の会の活動」(3.5%)の順となっている。

「これまでに参加したことがある」は「盆踊りやお祭り」(41.7%)が最も高く、「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」(30.8%)が続き、次いで「防災活動」(26.8%)、「道路や公園の草取り等の清掃」(24.7%)、「保護者等の会の活動」(24.3%)の順となっている。

「現在、参加していないが今後参加してみたい」は「高齢者・障がい者のボランティア活動」(39.3%)と「地域の歴史研究、伝統芸能の保存活動」(38.3%)が高く、次いで「趣味のクラブや文化・スポーツサークル等」(37.3%)、「国際交流活動」(36.7%)、「防災活動」(35.6%)、「防犯活動・交通安全事業」(35.0%)の順となっている。

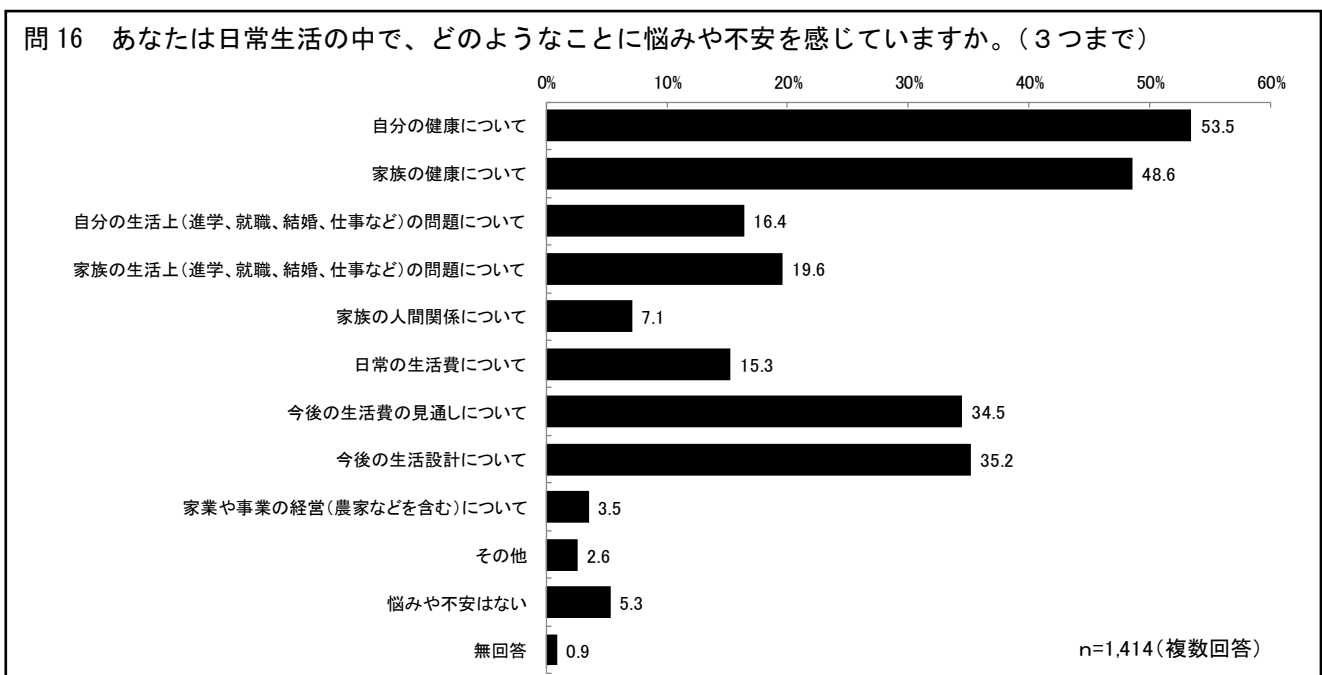
## 5. 日常生活での実感

### (1) 現在の幸福度 (問 15)



現在の幸福度について最も多いのが「8」(23.8%)で、次いで「10」(15.7%)、「7」(14.5%)の順となっている。

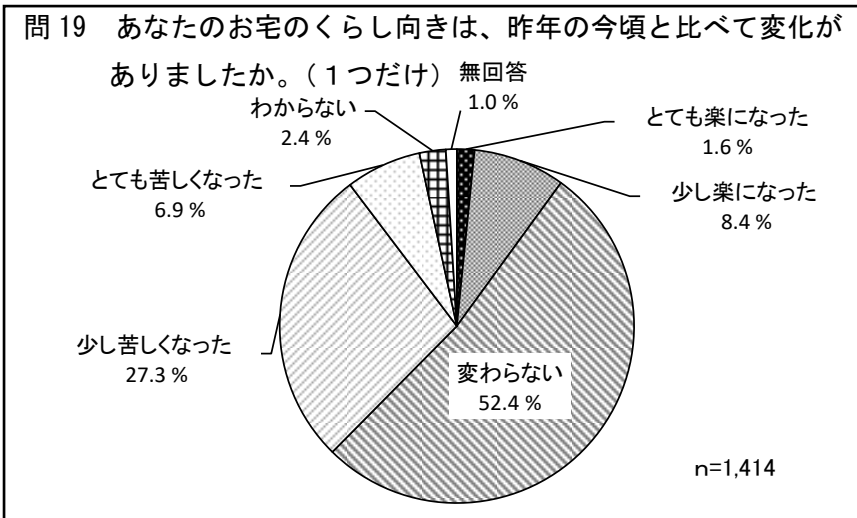
### (2) 日常生活の悩み・不安 (問 16)



日常生活の悩み・不安は「自分の健康について」(53.5%)、「家族の健康について」(48.6%)が高くなっている。以下「今後の生活設計について」(35.2%)、「今後の生活費の見通しについて」(34.5%)の順となっている。

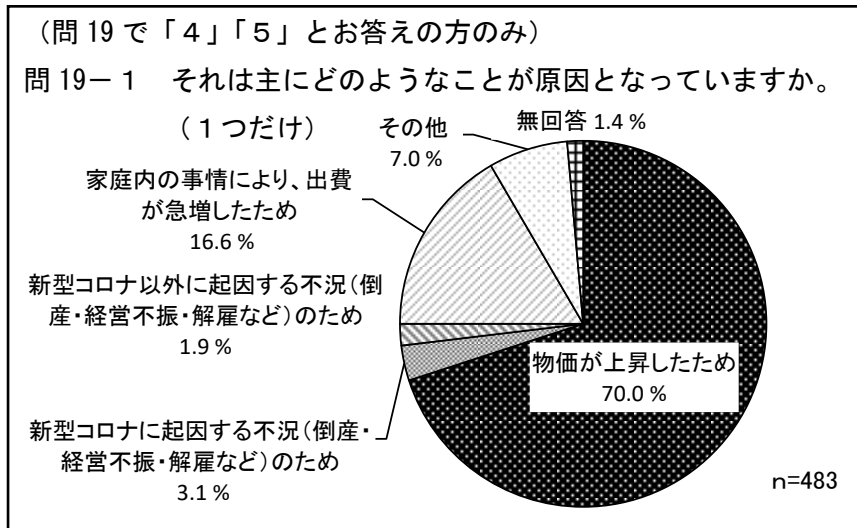
## 6. 暮らし向き

### (1) 暮らし向きの変化 (問 19)



暮らし向きの変化は、今年の今頃と比べて「変わらない」(52.4%)が5割以上となっている。次いで「少し苦しくなった」(27.3%)、「少し楽になった」(8.4%)と続いている。

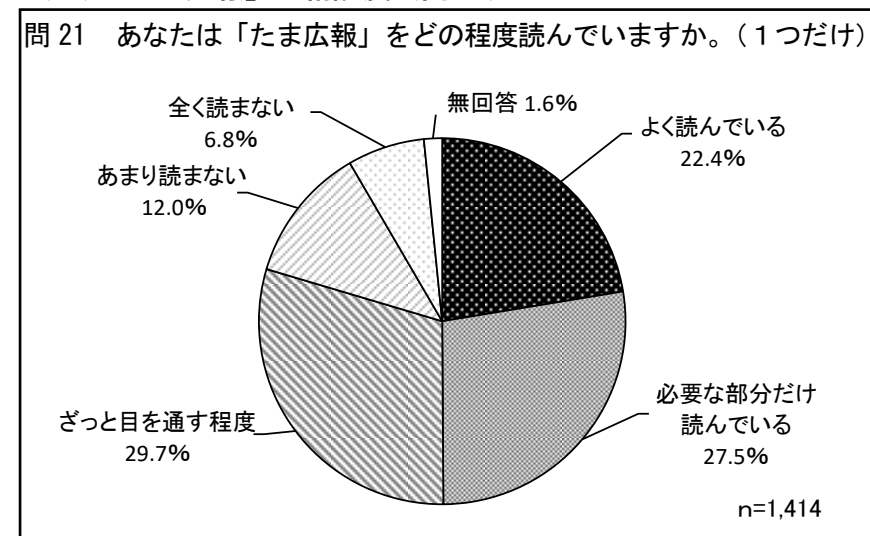
### (2) 暮らし向きの悪化理由 (問 19-1)



暮らし向きの悪化理由は、「物価が上昇したため」(70.0%)が最も高く、次いで「家庭内の事情により、出費が急増したため」(16.6%)、「新型コロナに起因する不況(倒産・経営不振・解雇など)のため」(3.1%)の順となっている。

## 7. たま広報・公式ホームページ

### (1) 「たま広報」の精読度 (問 21)

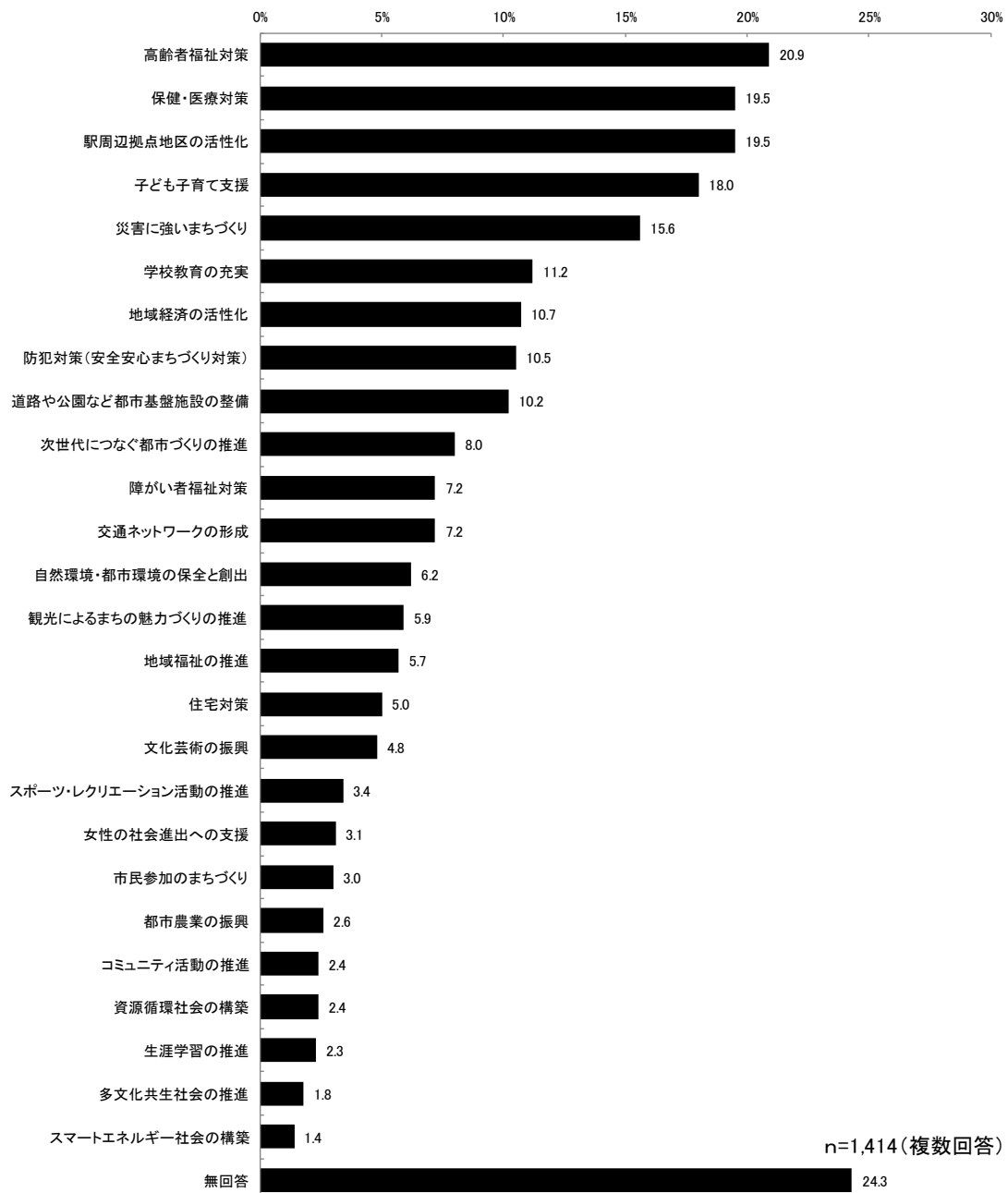


「たま広報」の精読度については、「ざっと目を通す程度」(29.7%)が高く、次いで「必要な部分だけ読んでいます」(27.5%)、「よく読んでいます」(22.4%)、「あまり読まない」(12.0%)の順となっている。「読んでいます」は79.6%で、8割近くを占めている。一方「全く読まない」(6.8%)も1割弱いる。

## 8. 市政への要望

### (1) 行政に特に力を入れてほしいこと (問 33)

問 33 行政に特に力を入れてほしい項目を2)～27)の中から番号でお答えください。(3つまで)



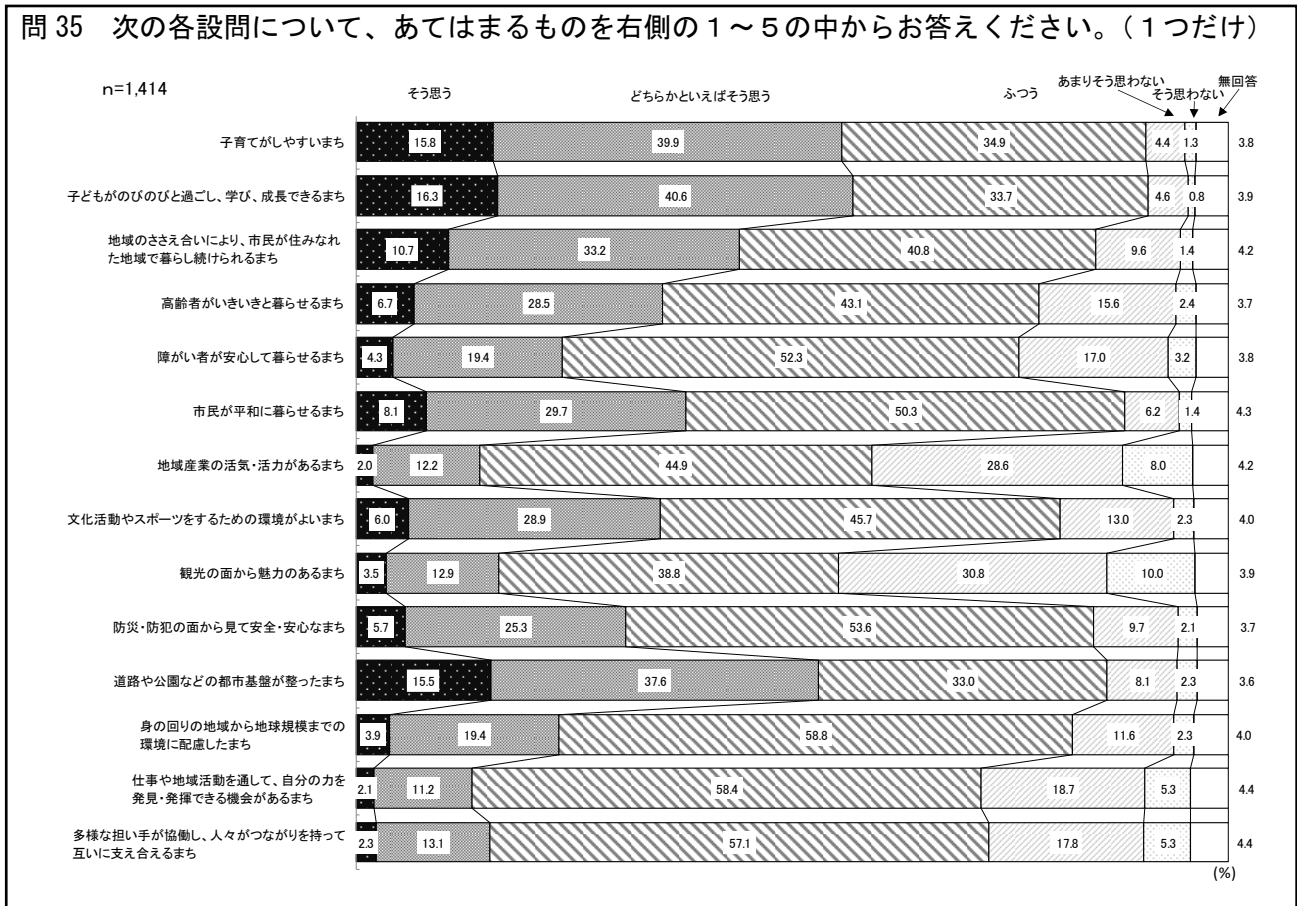
行政に特に力を入れてほしい施策は、「高齢者福祉対策」(20.9%)が最も高く、次いで「保健・医療対策」「駅周辺拠点地区の活性化」(ともに19.5%)、「子ども子育て支援」(18.0%)、「災害に強いまちづくり」(15.6%)の順となっている。

行政に力を入れてほしい施策の変化をみると、「高齢者福祉対策」は平成29年から下降に転じ前回の調査では5位まで落としていたが、今回は1位に大きく順位を上げた。「保健・医療対策」(前回6位)、「子ども子育て支援」(前回9位)も大きく順位を上げている。

それに対して「災害に強いまちづくり」は平成23年以降の調査では常に上位3位以内をキープしていたが、今回は5位に順位を落としている。

## 9. 生活の中での実感

### (1) 日常生活での実感 (問 35)



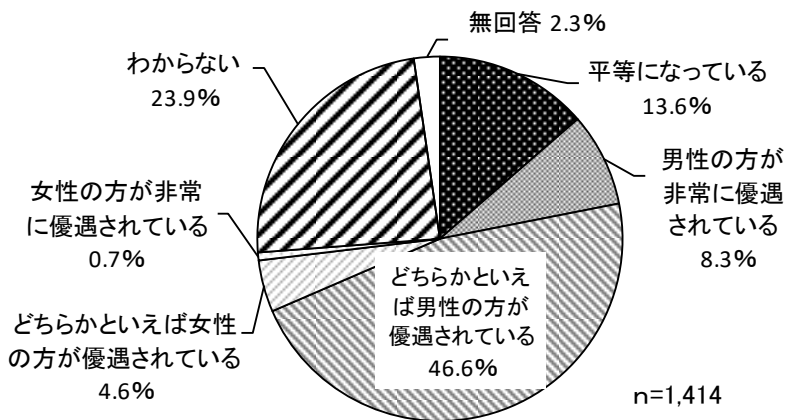
日常生活での実感では、多摩市について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“肯定的評価”は「子どもがのびのびと過ごし、学び、成長できるまち」(56.9%)、「子育てがしやすいまち」(55.7%)、「道路や公園などの都市基盤が整ったまち」(53.1%)、「地域の支え合いにより、市民が住みなれた地域で暮らし続けられるまち」(43.9%)、「文化活動やスポーツをするための環境がよいまち」(34.9%)、「市民が平和に暮らせるまち」(37.8%)の順に高い。

それに対して、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“否定的評価”は、「観光の面から魅力のあるまち」(40.8%)、「地域産業の活気・活力があるまち」(36.6%)、「仕事や地域活動を通して、自分の力を発見・発揮できる機会があるまち」(24.0%)、「多様な担い手が協働し、人々がつながりを持って互いに支え合えるまち」(23.1%)、「障がい者が安心して暮らせるまち」(20.2%)の順に高くなっている。

## 10. ジェンダー平等

### (1) 男女の地位の平等感 (問 45)

問 45 あなたは現在、家庭・地域・制度・慣習などを通して男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つだけ)

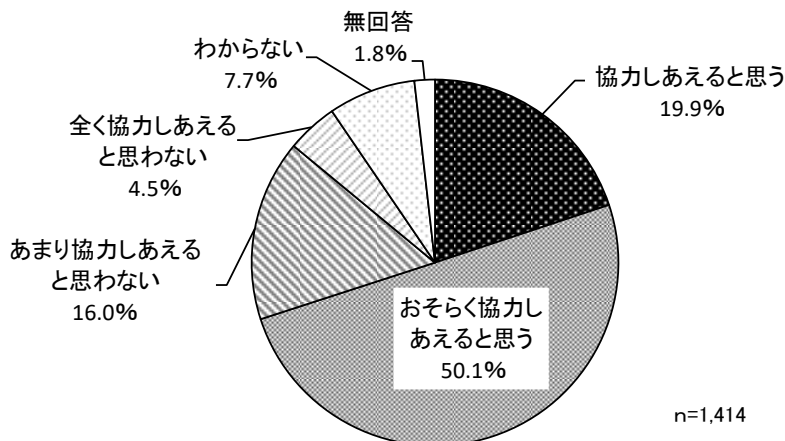


男女の地位の平等感については、「平等になっている」(13.6%)が1割強にとどまり、「男性の方が優遇されている」(54.9%)が、「女性の方が優遇されている」(5.3%)を大きく上回っている。

## 11. いざという時の近所との関わり

### (1) いざという時の近隣協力関係 (問 48)

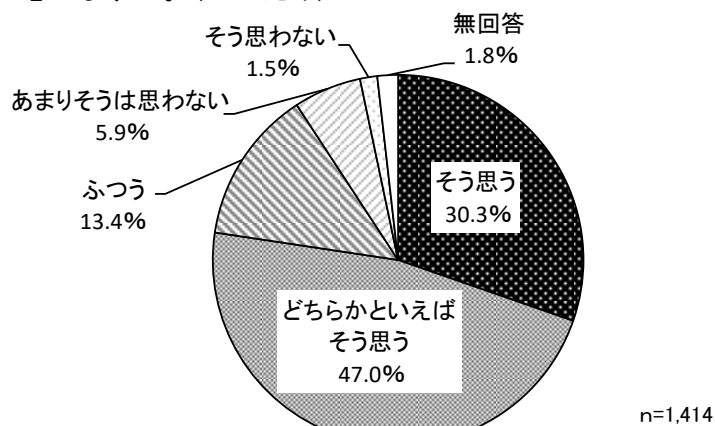
問 48 災害時など、いざという時に近所の人と協力しあえると思いますか。(1つだけ)



いざという時の近隣協力関係については、「おそらく協力しあえると思う」(50.1%)、「協力しあえると思う」(19.9%)の順に高く、「協力しあえると思う」は7割となっている。

### (2) 地域での助け合える関係 (問 49)

問 49 あなたは地域で困ったときに助け合える関係を築きたいと思いますか。(1つだけ)



地域での助け合える関係については、「そう思う」(30.3%)と「どちらかといえばそう思う」(47.0%)を合わせた“そう思う”は8割近くとなっている。

# 参考資料 第40回多摩市政世論調査報告書 章立

\*は概要版に一部掲載した項目です。

<ul style="list-style-type: none"> <li>* I 調査の概要</li> <li>* II 調査対象者の特性</li> <li>III 質問と回答</li> <li>* IV 調査結果の分析</li> <li>* 1. 定住意向             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 前住地 (問1)</li> <li>(2) 転入のきっかけ (問1-1)</li> <li>(3) 多摩市を選んだ理由 (問1-2)</li> </ul> </li> <li>* (4) 居住年数 (問2)</li> <li>* (5) 多摩市の認識 (問3)</li> <li>* (6) 定住意向 (問4)             <ul style="list-style-type: none"> <li>(7) 転居のきっかけ (問4-1)</li> <li>(8) 転居理由 (問4-2)</li> </ul> </li> <li>* 2. 生活環境             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) 住みよさの総合評価 (問5)</li> <li>* (2) 生活環境の総合評価 (問6)</li> </ul> </li> <li>* 3. 環境問題の関心             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) 関心のある地域レベルの環境問題 (問7)</li> <li>(2) 地球温暖化対策のために市に求める事業 (問8)</li> <li>(3) 地球温暖化対策のための日々の取り組み (問9)</li> </ul> </li> <li>* 4. 地域活動と生涯学習             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) 地域活動の現況と参加意向 (問10)</li> <li>(2) 行政が力を入れるべき地域活動 (問10)</li> <li>(3) 生涯学習の経験 (問11)</li> </ul> </li> <li>5. 文化芸術鑑賞状況             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 文化芸術の鑑賞頻度 (問12)</li> <li>(2) 文化芸術における有料のものの鑑賞頻度 (問12-1)</li> </ul> </li> <li>6. 文化芸術の創作状況             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 文化や芸術の創作頻度 (問13)</li> </ul> </li> <li>7. スポーツの実施状況             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) スポーツの実施頻度 (問14)</li> </ul> </li> <li>* 8. 日常生活での実感             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) 現在の幸福度 (問15)</li> <li>* (2) 日常生活の悩み・不安 (問16)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>(3) 悩みや不安を相談することへのためらい (問17)</li> <li>(4) ためらいを感じる理由 (問17-1)</li> <li>(5) 支えてくれる人の有無 (問18)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>* 9. 暮らし向き             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) 暮らし向きの変化 (問19)</li> <li>* (2) 暮らし向きの悪化理由 (問19-1)</li> </ul> </li> <li>10. 市政への関心             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市政への関心度 (問20)</li> <li>(2) 市政に関心のない理由 (問20-1)</li> </ul> </li> <li>* 11. たま広報・公式ホームページ             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) 「たま広報」の精読度 (問21)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) 「たま広報」の関心がある記事 (問21-1)</li> <li>(3) 「たま広報」に求める情報 (問22)</li> <li>(4) 公式ホームページ閲覧の有無 (問23)</li> <li>(5) 市政情報の入手手段 (問24)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>12. 市議会             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市議会への関心の有無 (問25)</li> <li>(2) 市議会に関心がない理由 (問25-1)</li> <li>(3) 市議会情報の入手手段 (問26)</li> <li>(4) 議会に期待する役割 (問27)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13. 窓口対応の満足度             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市役所及び出張所の窓口サービスの満足度 (問28)</li> </ul> </li> <li>14. 市政の取り組み             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 認知度 (問29~32-①)</li> <li>(2) 評価度 (問29~32-②)</li> <li>(3) 認知度と評価度からみた行政ニーズ (問29~32-①×②)</li> <li>(4) ライフステージ別広報活動の必要性が高い施策 (問29~32)</li> </ul> </li> <li>* 15. 市政への要望             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市政の満足度 (問33)</li> </ul> </li> <li>* (2) 行政に特に力を入れてほしいこと (問33)</li> <li>16. 市施設の利用状況             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市施設の認知度と利用状況 (問34)</li> </ul> </li> <li>* 17. 生活の中での実感             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) 日常生活での実感 (問35)</li> </ul> </li> <li>18. 健康・食育             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 現在の健康状態 (問36)</li> <li>(2) 健康づくりへの関心 (問37)</li> <li>(3) 健康維持のために実践していること (問38)</li> <li>(4) かかりつけの医師の有無 (問39)</li> <li>(5) かかりつけの歯科医師の有無 (問40)</li> <li>(6) 習慣的な喫煙の有無 (問41)</li> <li>(7) 受動喫煙の配慮 (問41-1)</li> <li>(8) 朝食の摂取状況 (問42)</li> <li>(9) 野菜のとり方への留意 (問43)</li> </ul> </li> <li>19. 児童虐待             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童虐待の通告・相談先の認知度 (問44)</li> <li>(2) 知っている通告先 (問44-1)</li> </ul> </li> <li>* 20. ジェンダー平等             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) 男女の地位の平等感 (問45)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) ジェンダー関連用語の認知度 (問46)</li> </ul> </li> <li>21. 犯罪被害                 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 犯罪被害者等相談窓口の認知度 (問47)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>* 22. いざという時の近所との関わり             <ul style="list-style-type: none"> <li>* (1) いざという時の近隣協力関係 (問48)</li> <li>* (2) 地域での助け合える関係 (問49)</li> </ul> </li> <li>23. オンブズマン制度             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 総合オンブズマン制度の認知度 (問50)</li> <li>(2) 総合オンブズマン制度における申立て対象の認知度 (問50-1)</li> </ul> </li> <li>24. 市税             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市税納付方法の認知度 (問51)</li> <li>(2) 今後利用を望む市税の納付方法 (問52)</li> </ul> </li> <li>25. 自殺対策             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ゲートキーパーの認知度 (問53)</li> <li>(2) 自殺対策への当事者意識 (問54)</li> </ul> </li> <li>26. スマートフォンやタブレット             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) スマートフォンやタブレットについて現在の所有状況 (問55)</li> <li>(2) スマートフォンやタブレットについて将来の所有予定 (問55-1)</li> </ul> </li> </ul> <p>V 結果の数表</p>
---	---

令和6年1月発行

■発行 東京都多摩市 企画政策部 秘書広報課

所 在：東京都多摩市関戸六丁目12番地1

電 話：042（338）6806（直通）

FAX：042（338）3311

多摩市公式ホームページ：<https://www.city.tama.lg.jp/>